

参考資料- 2

平成26年度 中流左岸地域協議会会議録

中流左岸地域協議会の議事録

中流左岸地域協議会の記録として、議速記による全文版の議事録（速記録）及び事録（要旨）を作成した。

なお、速記録については資料編に掲載した。

表 5-4-3 中流左岸地域協議会の議事録

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. 平成26年度 第1回 中流左岸地域協議会の議事録<ol style="list-style-type: none">(1) 中流左岸地域協議会の議事録（速記録）：資料編に掲載(2) 中流左岸地域協議会の議事録（要旨） |
|--|

1. 平成26年度 第1回 中流左岸地域協議会の議事録

(1) 第1回 中流左岸地域協議会の議事録（速記録）

第1回 中流左岸地域協議会の速記録は、資料編に掲載した。

(2) 第1回 中流左岸地域協議会の議事録（要旨）

第1回 淀川河川公園中流左岸地域協議会 議事要旨（質疑応答部分）

1. 開会
2. 出席者紹介
3. これまでの経緯
4. 議事

(1) 平成25年9月の水害について

（資料1：事務局による説明）

(2) 枚方地区の整備の進捗について

（資料2、参考資料1：事務局による説明）

【上田委員】植生群落図は1年以上前の地図ということで、ジャブジャブ池の下の園路付近の「要監視ながら概ね良好な自然状態の在来種群落」というところは現在はほとんどセイバンモロコシです。ジャブジャブ池から川側に行った左側のところにナガエツルノゲイトウの群落が2カ所ほど書いてありますが、その周りの緑色の部分も全てセイバンモロコシです。特定外来種にはなっていないが非常に厄介な植物なので特に気をつけてほしい。

【上田委員】「計画平面図」という字の枠の下のほうに実線が2本あるが、ここから水が入っている。これはもっと上流側に向け口をあけて、まともに流れを受けて排砂するようにしたほうがよい。

また、石護岸にしてナガエツルノゲイトウの対策にするということだが、ナガエツルノゲイトウは石の間にも生えて除去しようがない。葉がちぎれても根はそのままです。

シナダレスズメガヤのところにナガエツルノゲイトウの上の薄く削った土を入れて、その下の

土をさらに上に乗せるということか。

【淀川河川事務所副所長（北村）】シナダレスズメガヤの上に、掘ったナガエツルノゲイトウの土を乗せ、もう一回上に土を乗せる。その上に芝を張って草刈りの管理をする予定です。

【上田委員】チガヤを植えて草刈りをしたらどうか。

【森本会長】チガヤの実績はいろんなところでいっぱいある。多分いろんな立地ができるからチガヤが適当な立地も出てくるだろう。

【淀川河川事務所副所長（北村）】導入するまでの手間が結構かかるので、場合によっては市民参加でやるとか、そういうような形にしていきたいと考えている。

【上田委員】水分条件をきちっと把握してやればうまくいくと思う。順応的な管理をきちっとしないといけないと思う。

【淀川河川事務所副所長（北村）】流域自然園は水生植物等を当初植えていたが、あまり管理ができていなくて、ほったらかしになっていたの、ヨシなどは結構残っている。貴重な植物もそのまま保全されている。

【森本会長】せっかく流域自然園というコンセプトがあるなら、シードソースにするなどいろいろ考えるのもいいと思う。

【上田委員】流域自然園では市民参加は期待できないのか？

【淀川河川事務所副所長（北村）】枚方地区の利用人数が多いので期待はできると思う。やりたいという人が出てくれば協力や支援はできる。

【森本会長】枚方市にはけっこう活動団体があるのではないかな。

【瀬戸口委員】例えばアダプトプログラム、公園で言うと141団体でされている。道路のアダプトもある。

【上田委員】現在は、ギンドロがたくさんあって余りにも目立ち過ぎるのではないかな。

【淀川河川事務所副所長（北村）】公園管理者としても河川管理者としてもこの木は多すぎると考えており、植物の専門家もここに何でギンドロがあるのかというご意見なので、減らしていく方向で考えている。

(3) 点野の水辺ワークショップの開催報告

(資料3、参考資料2～4：事務局による説明)

【森本会長】このワークショップはまた開催されるのか。

【淀川河川事務所副所長（北村）】今後点野野草地区をこのように整備していくという方向性を提示したいので、今年度中か来年度の早い段階でまた開催していきたいと思っている。継続的に開催し、一緒に点野野草地区を運営していくような形をつくっていき、ほかの地区にも広げていきたい。

【上田委員】私も参加したが、地元や企業の方が参加されなかった。声のかけ方とか、いろいろ不十分な点もあったと思うので、工夫してみてもどうか。進め方としては急がなくてもいいと思う。

【淀川河川事務所副所長（北村）】女性とか親子連れぐらいの年代の人の参加が得られなかったの、今後どのように広報し、巻き込んでいくのかが一つ課題になっている。

【上田委員】地元をよく知っている人にやっぱり参加していただきたい。企業は一度動き出したらずっと動いてくれる。

【森本会長】子供のクラブみたいなものはないのですか。

【上田委員】ここにはないです。

【仲委員】学校のPTAの代表なりを紹介してもらって参加していただけたら、比較的話題が広がるのではないかな。

【森本会長】大阪府さんは、川でいろいろ活動されているのではないかな。

【吉田委員】石川河川公園では自然ゾーンというのを中流域に設けて自然観察などをやっている。

(4) 淀川河川公園の野草地区について

(資料4：事務局による説明)

【仲委員】きょう現地を見て、かなりクズが生い茂っていて、防犯上危ないなというところがかなり目についた。もうちょっと見渡せる状態まで刈って、生い茂らないように管理するなど、安全性ということも考えていただけたらありがたい。

【上田委員】すぐ横にスーパー堤防のマンションがあり、上からは一目瞭然なので、(安全性は)期待ができるかと思う。

【森本会長】僕の子供のころの淀川の前風景は、牛がいて草を食べていた。このような放牧をどこかでやってみようかという人がいたらよい。大学ではヤギ部という学生のクラブをつくって一年中面倒を見ている。そういうのがここでも何とかできたらおもしろい。

【淀川河川事務所副所長(北村)】やりたいという人がいれば、サポートはあり得ると思っている。国の直営ではできない。

【上田委員】クズを採るイベントはおもしろいかもしれない。

【森本会長】絶滅危惧種の野草をシードバンクというか、レフュージアをつくっていくなどはどうか。

【淀川河川事務所副所長(北村)】我々も事例の勉強をして、次回に向けて検討していきたい。管理の話になるので、継続的に皆さんのお知恵をかりて、使えるようなアイデアが出てくれば、他の地区にも展開するようなことをしたい。

5. 今後の予定

6. 閉会

(以 上)